

企業金融部門

企業金融部門では、新銀行発足と同時にお客さまとの窓口を一本化しました。これは、わが国を代表する先進の大企業に対して、継続的に高度なソリューションを提供していくには、合併と同時にさくら銀行・住友銀行両行の垣根を越えたフロント組織に移行すること、そしてそれにより強靱な営業体制を確立することが必須であると考えたためです。

【具体的成果】

- フロント一本化により両行の蓄積してきたノウハウのシナジー効果を発揮
 - ～ 景気が低迷する中で、最注力ポイントであった非金利収益の増強を実現
- 重複の無い組織作りにより筋肉質な体制を構築
 - ～ 経費圧縮を実現
- 情報インフラの整備を完了
 - ～ 『国際企業CRM(カスタマー・リレーションシップ・マネジメント)』を新体制スタート直後に導入、情報の瞬時共有化を実現

【今後の施策】

- 大和証券SMB(株)との連携や金融ソリューション室の運用を強化することによる事業再編絡みのソリューション力引き上げ
- CMS(キャッシュ・マネジメント・サービス)を中心とする決済関連業務の強化
- 旧両行が強みとしていたノンリコースローン・コミットメントライン・シンジケートローン等のアレンジメントの更なる積み上げ

平成13年度上期において、体制作りはほぼ完了したと言えます。

今後は、「アセットに依存した収益構造から脱却し、手数料収益を強化するとともに、経費の圧縮に努め、競争力の強化を図る」という当部門が掲げるビジネスモデル変革をより強力に推進していきます。